

---

# 東方機人録

ネコスギ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方機人録

### 【Nコード】

N9013S

### 【作者名】

ネコスギ

### 【あらすじ】

幻想郷にロボット時代が到来。

紫が失踪さらにレミリアが妖怪や人間を無策に乱獲する異変発生。その異変に秋姉妹が「ヒソウテンソク」なるロボで闘うこととなった。

一体幻想郷はどうなってしまうのだろうか……。

## プロローグ（前書き）

東方二次創作です。

原作を出来る限り重視していきますが、原作無視の設定が有るかもしれない。

厨二病発生の危険あり。

## プロローグ

時時は星蓮船異変解決後から暫く。

幻想郷に巨大な隕石が飛来した。

普通なら幻想郷に多大な被害が出るのかもしれないが、博霊大結界の影響で落下速度が減速し落下の影響は最小限で済んだ。その隕石が落ちたのは、妖怪の山の少し手前の森だった。隕石の落下後の周辺は焼け野原となっていた。

その異変に一番に気付いた八雲紫が、周辺に人と妖怪を近づかせないため結界を張った。

ニトリ川城博士が八雲紫監修の元調査に当たった。

その結果、落下した隕石はただの隕石ではなく、他世界のオーバーテクノロジーの情報集積体であることが判明した。

その隕石の形状は楕円形。

長径80m短径45m程の黒い物質の塊だった。

その黒い物質がなんなのかはまだ分からないが、その黒い物質には多くの情報が記録されていたらしい。

その情報の一部をニトリ川城博士が、八雲紫の資産提供で復元に成功した。

復元されたのは全長13m弱の人型のロボットだった。

八雲紫はこれを幻想郷発展に役立つのではと考え、この技術を農業に転用することで農業の人手不足問題の解決など多くの実績をだした。

さらにニトリ川城博士は、これを弾幕勝負いわゆるスペルカード勝負にも使えるのではないかと考えた。

従来の基本設計を捨て、弾幕勝負を前提としたロボットの開発が始まった。

その結果できたのは搭乗者の魔力を動力とし、掌からの魔力収縮弾と基本動作と飛行のみとでもシンプルなものだった。それは数ある妖怪に対応するため、自分好みのカスタマイズを前提において製作が進んだ為である。妖怪や人間たちはそれを「幻想機人」と名付けていた。

しかし、この「幻想機人」「I・M・P」「Illusion・mac hine・person」はスペックは最大馬力がスカレット姉妹つまり吸血鬼並みの剛腕、主要装備は掌からの魔力で弾の精製と射撃を行うサブマシンガン（P90の様な）で魔力弾一発の威力は3面ボスの難易度normalのlast spell並みだった。

幻想機人が有る無ではかなり力の差が出る事となった。さらに幻想機人の保有数は一人に一機と決まっている。今までの弾幕戦との違いは自身が被弾した場合コンティニュー可能だが、幻想機人は復活することはない。実質「幻想機人」を失うということは負けという事なのである。

そんな幻想郷で異変は始まった。いや、実はあの隕石が幻想入りした時から始まっていたのかもしれない……。

## プロローグ（後書き）

機体名称はだいたいはドイツ語からつけます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9013s/>

---

東方機人録

2011年10月8日17時24分発行